

学習院大学 国際交流センター

Centre for International Exchange

News Letter



vol. 16
October 1, 2005

新たに3校と協定締結！

本学はこのたび、オックスフォード・ブルックス大学（イギリス）、チュレーン大学（アメリカ）およびボローニャ大学（イタリア）とそれぞれ大学間協定を締結しました。

オックスフォード・ブルックス大学は、1865年に設立されたOxford School of Artsを前身とし、Oxford Polytechnicを経て、1992年に大学となりました。『グッド・ユニバーシティ・ガイド』（タイムズ紙刊行）の“Best New University”第1位に8年連続で選ばれるなど、新制大学のトップとして支持を得ています。キャンパスは、英国最古の美しい大学街であるオックスフォードにあります。

【オックスフォード・ブルックス大学の概要】

- ①創 立：1865年
- ②所在地：英国 オックスフォード市
- ③学生数：約18,000人
- ④学 部：Business School, School of The Built Environment, School of Arts and Humanities, School of Technology, School of Social Sciences and Law, School of Biological & Molecular Sciences, Westminster Institute of Education, School of Health and Social Care

チュレーン大学はニューオーリンズにある私立の総合大学で、1834年にMedical College of Louisianaとして設立されました。質の高い教育には定評があり、全米2,500余の4年制大学の中で、総合評価は常にベスト50位以内にあります。また、1886年に開設されたNewcomb Collegeは、アメリカ合衆国初の学位授与権のある女子大学です。大学のあるアップタウンは、ピクトリア様式の優雅な家々が並ぶ美しい住宅地で、学部や宿舍などおよそ80の建物が44万㎡という広大なキャンパスに広がっています。

【チュレーン大学の概要】

- ①創 立：1834年
- ②所在地：アメリカ合衆国 ニューオーリンズ市
- ③学生数：約12,400名
- ④学 部：Undergraduate: Newcomb College, Tulane College, University College, Faculty of Liberal Arts & Sciences
Graduate: School of Architecture, Graduate School, Law School, School of Medicine, School of Public Health & Tropical Medicine, School of Social Work
Undergraduate & Graduate: School of Business, School of Engineering

ボローニャ大学はヨーロッパ最古の大学として知られ、現在は23学部68学科を持つ総合大学です。教授陣は世界的に有名な大家を数多く擁しています。キャンパスのあるボローニャは、人口の4分の1を学生が占める大学街で、2つの斜塔とボルティコ（柱廊）をシンボルとする中世の街並みが印象的な都市です。その他、フォルリ、ラヴェンナなど5都市にキャンパスを有し、南米のブエノスアイレスには教育センターがあります。

【ボローニャ大学の概要】

- ①創 立：1088年
- ②所在地：イタリア ボローニャ市
- ③学生数：約100,000人
- ④学 部：Advanced School of Modern Languages for Interpreters and Translators, Economics, Education Sciences, Engineering, Exercise and Sport Sciences, Foreign Languages and Literature, Industrial Chemistry, Law, Letters and Philosophy, Mathematical, Physical and Natural Sciences, Political Sciences, Psychology, Statistical Sciences等23学部

バイロイト大学留学体験記

法学部法学科 4年 岩崎 康郎



私が派遣留学生として一年間過ごしたバイロイトという町はドイツ南東、バイエルン州の北部に位置し、人口約80,000人、なんとその内、10パーセント強がバイロイト大学に通う学生という小さな町である。この小さな大学都市を紹介すると共に、そこで過ごした私の一年間を簡単にまとめたいと思う。

そもそも私がドイツ留学を志したきっかけは二点ある。第一に、小学校時代を日本人学校ではあるがドイツで過ごした私は、第二の故郷ともいえるその地でもう一度学んでみたいと思いつけていたのであるが、大学に入ってから第二外国語としてドイツ語を続けるうちに、その成果を現地で確かめ、更に深めていきたいと切望するようになったこと。また、法律の文献をドイツ語で読むという「外国書講読」の授業で著作権や特許など「知的財産権」という概念に興味を覚え、その分野で戦後日本の模範であり続けたドイツに身を置き、勉強できるということは自分を高めるといって有意義であると考えたからである。

バイロイト大学は学生数が約9,500人、そのうち外国人留学生が交換、正規の学生を合わせて約450人という他のドイツの大学と比較しても多くの外国人留学生を受け入れている大学で、1975年に設立された新しい大学である。私がこの大学で勉強し、一年間を通して感じたことは、在学生による留学生へのケアがとてもしっかりしているということである。私は2004年9月から2005年7月までこの大学に在籍していたのだが、冬学期が始まる一週間ほど前にレベルごとに分かれたドイツ語コースに参加することができ、またバイロイト大学の講義の様子、単位や試験についての説明会も学部ごとに開催されていた。更に希望すればチューターなどをつけてもらうこともできる。驚くべきことにこれらは全てバイロイト大学の国際交流課のボランティアの学生達によって企画されたものであり、私たち外国人留学生にとってバイロイト大学に馴染むきっかけを作ってくれる心強いものであった。

このような機会に加えて、居住者の大多数が留学生という寮に住んでいたのも、本当に様々な国、人生経験を持った人たちと知り合えたことは私の大きな財産だ。1年間の滞在で孤独を感じたことは全くといっていいほどなく、むしろ色々な価値観を持った人たちとの共同生活を通して、自分の視野も広がったことを確信している。ドイツとチェコとの国境近くに位置しているというバイロイトの利点も生かし、寮のチェコ人、スロバキア人の引率でプラハに小旅行ができたこともよい思い出である。

大学での講義については当初想像以上についていくことに苦戦した。語学面の問題もさることながら、内容の点でも半期の授業で学習院の通年の授業をカバーできるほど密度の濃いものだったので、日々の予習復習が欠かせなかった。バイロイトでの友人がみな、目的意識をしっかり持ち、勤勉であったので、学部などは違ったとしても支えてもらうことが何度もあった。

交換留学が終わった後7月から私はボンに場所を変え、自分のドイツ語のレベルを確認するためにDSH対策コース(ドイツの大学に正規に入学するための語学試験)に一月月通い、合格した。

この1年間という与えられた時間の中で自分が学び、吸収してきたことをこれからの人生にどう生かせるか、そしてその答えが出せたとき、はじめて私の留学が終わったといえるのではないだろうか。

世界の国から
いただきます。

ルーマニア編

人文科学研究科哲学専攻博士前期課程1年

ドラガン アンジェラ



ドラガン アンジェラさんに、母国のルーマニア料理のレシピを教えてくださいました。彼女が紹介してくれたのは、ルーマニアの代表的な家庭料理である「サルマーレ」。これは言うてみれば、ルーマニア風のロールキャベツだそうで、日本人に親しみやすい味ということで、選んでくれたそうです。サルマーレは、特別な日に供される料理で、クリスマスにはどこの家庭の食卓にも上るそうです。白ワインやビールと一緒に食べるとおいしいとか?ぜひお試しください。

●材料 (2~3人分)

- キャベツ—1/2個
- 米—1/2カップ
- ひき肉—250g
- ベーコン—50~100g (小さく切る)
- たまねぎ—1/2個 (小さく切る)
- にんじん—1/2個 (小さく切る)
- トマトの水煮缶—1/4缶 (実はスライスする)
- 油—少々
- 塩、こしょう—少々
- 月桂樹の葉—2~3枚



ニュルンベルグのクリスマス市にて
(真ん中が岩崎さん、左端は今秋から協定留学生として本学に在籍中のコラー マティアスさん)

本学には現在、約100名の留学生在籍しています。留学生の割合はそれほど多くありませんが、その出身国は驚くほど多様で、10数カ国にわたっています。

ほとんどの留学生は、皆さんと同じように学部や大学院に所属し、学位の取得を目指していますが、研究生や科目履修生として学んでいる学生さんもいます。

その他、協定校との学生交換による協定留学生も受け入れています。本年度は8校から15名が来日しました。

今年4月から半年間、協定留学生として本学に在籍した、ノースカロライナ州立大学シャーロット校(アメリカ)のハーリー ニコールさんに感想を聞きました。



I have really enjoyed my time at Gakushuin, and I am really glad that I chose it over any other schools in Japan that I could have gone to. The staff at the Centre for International Exchange was incredibly nice and helpful, and I would have never made it through my stay in Japan without them. The students were also very nice, and I have made good friends while I was studying at Gakushuin.

The teachers in my classes were also very helpful, and dealt well with the language barrier. I learned a lot in my Japanese classes, although much of the material we covered was review. The range of skill was very large in the beginning level class. Still, it was review I needed, I know more *kanji* than ever!

The only bad thing about Gakushuin was the lack of classes to take for credit. Not being fluent enough to attend a lecture in Japanese, I had very few choices for classes.

Other very good things about Gakushuin were the fact they set up tutors for students that wanted them, and also that they sponsored a trip to see *kabuki* for all the foreign students. I don't think I would have had this experience if it wasn't for this trip, and I am glad I did! Thank you!

Nicole Hurley

留学生からのメッセージ.....



ROMANIA



●作り方

- ①鍋に油をひいてたまねぎとにんじんを炒め、米、水少量、スライスしたトマト、塩、こしょうを加えて、野菜がやわらかくなるまで炒める。ボールにうつして、さめたらひき肉と混ぜる。
- ②キャベツの葉をはがし、沸かしたお湯にキャベツの葉を入れてやわらかくする。
- ③キャベツの葉に①の中身を丁寧に巻く。
- ④③で残ったキャベツを薄くスライスして鍋に入れる。
- ⑤その上に③をならべ、ベーコンと月桂樹の葉を入れる。
- ⑥キャベツがかぶるくらいの水をいれ、沸騰したら、トマトの水煮缶のジュース、塩適量を加えて、米がやわらかくなるまで、弱火で30~40分くらい煮込む。
- ⑦食べる時、サワークリームまたはヨーグルトをかける。

ルーマニア語で、いただきますは、**POFTA BUNA!**
おいしいは、**BUN**です。では、みんなで一緒に

POFTA BUNA!

奨学金について

留学に必要な経費は決して安くありません。英語圏への私費留学であれば、およそ200~300万円かかると言われています。留学を考える時、資金面についてもしっかり計画を立てておくことが、留学を成功させるカギの一つと言えます。奨学金を利用したいと思っている皆さんも多いと思います。国内にはどんな奨学金があるのか、まとめてみました。

学内	学習院大学海外留学奨学金 — ①	
学外	公費奨学金	日本政府奨学金 — ②
		地方自治体奨学金 — ③
	外国政府奨学金 — ④	
	民間団体奨学金 — ⑤	

- ①詳しくは本紙の最終ページをご覧ください。
- ②日本政府(文部科学省)が行っているもの。
- ③国内の地方自治体等が主にその自治体の在住者等を対象に行っているもの。
- ④外国政府等がその国へ留学する日本人を対象に行っているもの。
- ⑤民間企業等が行っているもの。

その他、留学先大学等に、外国人留学生を対象にした奨学金が設けられている場合もあります。応募資格、支給内容、募集方法等はそれぞれ異なりますので、必ず確認してください。国際交流センターには、②~④についての募集要項が届く他(一部届かないものもある)、奨学金のパンフレットもありますので、参考にご覧ください。

インターネット版TOEFL®テスト(TOEFL-iBT) いよいよ来春日本へ導入予定!

前号でもお知らせしたとおり、TOEFL®は2005年度から4技能(読む・聴く・書く・話す)を総合的に測定するTOEFL®-iBTが導入され、米国をはじめとしたカナダ、フランス、ドイツなどですでに実施されています。日本ではいよいよ来春から導入される予定です。スコアは合計120となり、試験時間は約4時間となります。新設されたスピーキングセクションは、マイク付きヘッドフォンを使用し、マイクに向かって解答します。また、ライティングセクションはこれまでのように手書きでの解答ができなくなり、キーボードによるタイピング入力での解答のみとなります。TOEFL®-iBTの最新情報はETS公式HP <http://www.toefl.org/> で確認できます。

2006年度協定留学プログラム(第2期) 派遣学生募集中!

国際交流センターでは、2005年(平成17年)度より、派遣先別に2回、派遣学生の募集・選考を行っており、現在、2006年度第2期(派遣先:中国、アメリカ、ヨーロッパ等・留学期間:2006年10月~2007年9月)の出願を受け付けています。新しい協定校のオックスフォード・ブルックス大学への派遣学生も募集していますので、興味のある方はぜひ、チャレンジしてください。募集要項は国際交流センターで配布しています。

なお、2006年度第1期(派遣先:韓国、タイおよびオーストラリア、ニュージーランド・派遣期間:2006年4月~2007年3月)の募集はすでに終了しました。

2005年度協定留学プログラムによる派遣学生の皆さんは以下のとおりです。

●派遣先	●派遣学生	
復旦大学	法学部法学科4年	袴田 順史
	法学部政治学科2年	増田 友美
	文学部英米文学科2年	羽子田 知沙
チュラロンコン大学	法学部法学科3年	渋谷 高望
オーストラリア国立大学	文学部心理学科3年	伊沢 望
ウェリントン・ヴィクトリア大学	法学部法学科3年	内田 有香
ノースカロライナ州立大学	法学部政治学科2年	加藤 佑理
シャーロット校	文学部英米文学科3年	関 友利恵
アイスランド大学	法学部政治学科4年	新垣 絢
国立ナポリ東洋大学	法学部政治学科4年	草川 智愛
	経済学部経営学科3年	伊藤 晃子
パイロイト大学	文学部ドイツ文学科2年	三好 美沙
マンハイム大学	文学部ドイツ文学科3年	田中 麻絵

平成17年度大学院学生の 国外における研究発表援助の 募集のお知らせ

平成17年度第2回目の募集を下記のとおり行います。今年度、初めて応募する大学院学生の方だけではなく、すでに援助金を受けている方でも、異なる研究集会で発表を行う場合には応募することができます。募集要項は国際交流センターで配布しています。

応募条件: 国外における研究集会で発表を行う者

募集人数: 若干名

援助金額: 1人10万円を限度として渡航費用の一部または全額

応募締切: 10月31日(月)

平成18年度学習院大学 海外留学奨学金の募集のお知らせ

本学では、留学費用を援助し、できるだけ多くの皆さんが留学のチャンスを得ることができるよう、奨学金制度を設けています。平成17年度の募集はすでに終了しました。平成18年度第1回目の募集については、国際交流センターのHPでお知らせします。

応募条件: 教授会等で留学が許可されているか、もしくは海外の大学へ出願中の者

奨学金額: 1人50万円(給付)

募集人数: 15名(年間)

応募締切: 第1回(平成17年12月)

第2回(平成18年6月)

応募対象者: 留学期間が

①H18年4月~H19年3月の者

および

②H18年10月~H19年9月の者

※ただし、①の者は第1回に応募するのが望ましい。

平成17年度は以下の皆さんが奨学生に選ばれています。

法学部法学科4年	袴田 順史(中国)
〃 法学科3年	吉野 真香(イギリス)
〃 政治学科3年	近藤 修一(ハンガリー)
〃 政治学科3年	鷹島 由記(オーストラリア)
〃 政治学科3年	前田 千穂(オーストラリア)
〃 政治学科2年	加藤 佑理(アメリカ)
文学部日本語日本文学科4年	泰永 彩子(オーストラリア)
〃 英米文学科4年	渡邊 恭子(カナダ)
〃 英米文学科3年	河村 麻美(アメリカ)
〃 ドイツ文学科3年	平野 朝美(ドイツ)
〃 フランス文学科2年	岡田 陶子(フランス)
人文科学研究科史学専攻D3年	柏倉 伸哉(中国)
〃 イギリス文学専攻D3年	土井 雅之(イギリス)
〃 ドイツ文学専攻D3年	遠藤 浩介(ドイツ)
自然科学研究科化学専攻M1年	土肥 俊忠(アメリカ)

()内は留学先国

News Letter vol.16

October 1, 2005

発行日/2005年10月1日

編集・発行/学習院大学国際交流センター

〒171-8588 東京都豊島区目白1-5-1

TEL.03-5992-1024 FAX.03-5992-1025

http://www.gakushuin.ac.jp/univ/cie/index.html

●編集後記● 留学生に母国の料理を紹介してもらおう「世界の国からいただきます。」を始めました。第1回目はルーマニア料理の「サルマーレ」。先月末まで開催されていた「愛・地球博」でも人気だそうです。ロールキャベツに似ているので、私たちには、なじみのある味なのかもしれません。サルマーレとロールキャベツ。ルーマニアと日本は意外なところまでつながっていました。アンジェラさんは、お母さんと一緒にサルマーレを作ることが多いそうです。なぜなら、サルマーレは見た目より手の込んだ料理なので、作る時はみんなで一気にたくさん作るからだそうです。今夜はみんなでサルマーレを作ってみてはいかがでしょうか?

【平成17年度国際交流センター運営委員】

所 長	塩谷 清人 (文学部)
運営委員	山下 純司 (法学部)
〃	ブラウン フィリップ (経済学部・外国語教育研究センター)
〃	前田 直子 (文学部)
〃	高橋 利宏 (理学部)
〃	有川 治男 (教務部長・文学部)
〃	遠藤 久夫 (学生部長・経済学部)